

幸年期 Café

with

やまなし

薬害から学ぶ研修会



今、特例承認をうけて新型コロナ感染治療薬が使用されています。薬剤師はその取扱いでリスク最小化計画を活用し、投薬後は経過後フォローし、医師への情報提供書などで責務を果たしており、薬害から創設された制度を活用しています。血友病患者に使用された血液製剤が、アメリカでは1883年にリスクのある非加熱製剤から加熱製剤になり、日本では遅れて1885年加熱製剤になった。この2年間の日米でのタイムラグは被害を拡大した。1996年3月和解となったが、この裁判で問われたものはなにか、この裁判で創設されてものはなにか。その歴史から学び考える研修会です。

〈日時〉 令和4年 **10月6日(木)** 19:00～20:30

和解の日から26年 薬害エイズ事件

「薬害エイズ」何が起き、変わったのか

講演1

薬害エイズ事件で問われたもの

社会福祉法人 はばたき福祉事業団 理事長 **武田 飛呂城** 氏

講演2

薬害被害者の支援に関わってきた日々

HPVワクチン東京訴訟ネットワーク 事務局 **江川 守利** 氏

〈参加費〉 会員 1,000円(2022年度HAPパスポート利用可)、非会員 1,500円
日本薬剤師研修センター研修受講シールの発行はありません

〈申込方法〉 HAP研修申込管理システム(HAPのHPに掲載もしくは下記QRコード)よりお申し込みください

WEB開催!!



お申し込みは
こちらから

【共催】 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

【代表】 中村由喜、百瀬美紀、薬袋貴美、依田和美

【連絡先】 Tel : 090-9824-8395 (中村)